

阿蘇山

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、レベル 2 (やや活発な火山活動) からレベル 3 (小規模噴火が発生) になりました。

概況

阿蘇山でごく小規模な噴火が発生しました。本日 14 日 10 時に、ごく少量の灰白色の火山灰が中岳第 1 火口縁から南側 700m 付近まで付着しているのを阿蘇山測候所職員が確認しました。また 11 時頃、阿蘇山中岳第 1 火口の北側火口縁付近で京都大学と阿蘇山測候所職員が、ごく少量の火山灰が連続して降っているのを確認しました。

阿蘇山の臨時火山情報は、2004 年 1 月 14 日に規模の大きな土砂噴出が発生して以来です。

阿蘇火山防災会議協議会は、14 日 12 時から火口から半径 1 Km 以内の立ち入りを規制しました(図 2)。

火口内の状況

本日(14日)10時に行った現地観測では、ごく少量で灰白色の火山灰が、中岳第 1 火口縁から南側 700m 付近まで付着しているのを確認しました。

13 日の現地観測では湯だまりの色は灰色、温度は 70 でした。また湯だまり量は 4 月 8 日から約 2 割が続いています。また土砂噴出は湯だまり内で無数にあり、高さは最高で 5 m 程度でした。また、噴気音は「シュー」という大きな連続音でした(図 1)。

地震・微動活動の状況

4 月 1 ~ 13 日までの A 型地震は 48 回で、B 型地震は 559 回とやや多い状態でした。孤立型微動は 1 日あたり 104 ~ 194 回で、やや多い状態です。また、継続時間の短い火山性微動および火山性連続微動はありませんでした。

緊急機動観測班の派遣

福岡管区気象台火山監視・情報センターは、本日(14日)緊急機動観測班 2 名を現地に派遣しました。山頂付近の現地調査等を行います。



図 1 2005 年 4 月 13 日の阿蘇中岳第 1 火口内の様子

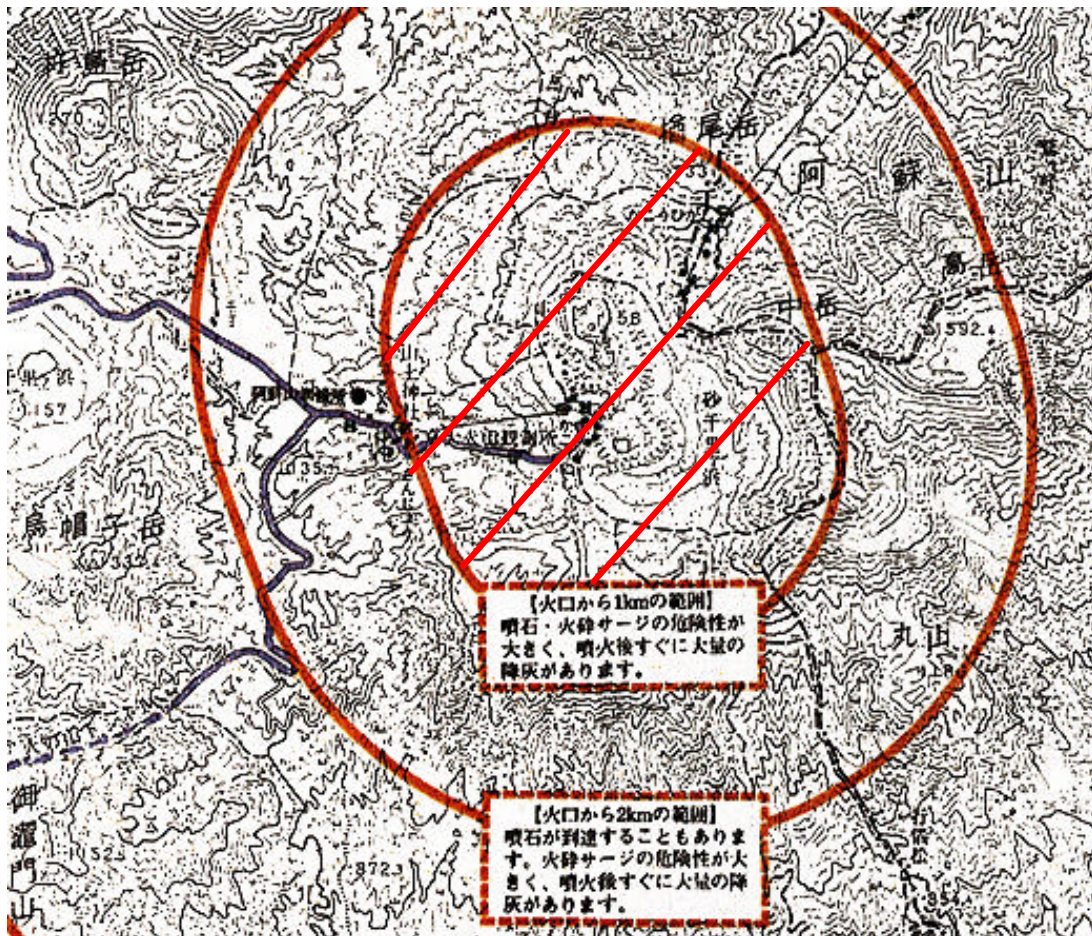


図 2 阿蘇火山規制区域

火山活動度レベルの区分け

<p>レベル5 大規模な噴火が発生または可能性</p> <p>広域で警戒が必要。</p>	
<p>レベル4 中規模噴火が発生または可能性</p> <p>火口から離れた地域にも影響の可能性があり、警戒が必要。</p>	
<p>レベル3 小規模噴火が発生または可能性</p> <p>火山活動に十分注意する必要がある。</p>	
<p>レベル2 やや活発な火山活動</p> <p>火山活動の状態を見守っていく必要がある。</p>	
<p>レベル1 静穏な火山活動</p> <p>火山活動の状態を見守っていく必要がある。</p>	
<p>レベル0 長期間火山の活動の兆候がない</p>	

阿蘇山 火山活動度レベル

レベル	火山の状態	噴火の形態	過去事例
5	大規模な噴火が発生または可能性。 有史以降、事例はないが、中岳以外の噴火を含めた大規模噴火が発生、または発生する可能性があり、広域災害の可能性のある状態。	大規模な噴火により広域に噴出物等による影響の可能性はある。広域で厳重な警戒。	有史以降事例なし。
4	中規模噴火が発生または可能性。 噴石等が火口からある程度離れた地域まで飛散もしくは飛散する可能性がある状態。	中規模噴火により火口からある程度離れた地域(火口から1km以上)に噴石等が飛散する可能性がある。火口からある程度離れた地域でも警戒。	<ul style="list-style-type: none"> ・1933年2月24日の爆発(窓ガラス破損、噴石飛散距離約1.3km) ・1958年6月24日の爆発(死者12、家屋全壊5、噴石飛散距離約1.3km) ・1965年10月31日の爆発(建物被害、噴石飛散距離約1.2km) ・1979年9月6日の爆発(死者3、建物被害、噴石飛散距離約1.2km) ・1990年4月20日の噴火(多量の火山灰により電力(絶縁不良)被害、農作物被害、交通災害、噴石飛散距離北側約1.0km)
3	小規模噴火が発生または可能性。 噴石等が火口縁周辺に飛散もしくは飛散する可能性がある状態。	小規模噴火により火口縁周辺(火口から1km未満)に噴石等が飛散する可能性がある。火口に近い地域は注意。	<ul style="list-style-type: none"> ・1977年の活動等(土砂噴出、降灰、噴石) ・2004年1月14日(土砂噴出、降灰)等。
2	やや活発な火山活動。 火山性地震・微動の増加、湯だまりの変化、小規模の土砂噴出、少量の有色噴煙等、火山活動がやや活発化している状態。	噴火活動期への移行段階の可能性はある。火口内にとどまる小規模な土砂噴出等の可能性はある。	・2002年8月11日~9月18日の活動で孤立型微動、火山性地震が増加等。
1	静穏な火山活動。 火口内は緑色の全面湯だまりで、少量の噴気活動や火山性地震・微動が発生するものの、噴火の兆候がない状態。	噴火可能性低い。	通常のレベル。
0	長期間火山の活動の兆候なし。 長期にわたり、噴気活動、火山性地震・微動の発生もほとんど見られない状態。	噴火可能性なし。	観測開始以降事例なし。